

2017年12月3日（日）

主 題：「神である主をほめたたえよ」

—ザカリヤ讃歌—

テキスト：ルカの福音書1章67－79節

### はじめに

- ・私たちは本日、第一アドベントを迎えました。これからイエス・キリストの誕生までの4週間、クリスマスに向かい心を備えて行きたいと願います。
- ・ところで、最近私がつくづく思う事は、「つながり」ということです。流れていく時間の背景を追うと、「あの事があってこうなった！」そして、「今、このようになっている！」という出来事が一線上に置かれ「つながり」を覚えます。
- ・現在、世界には多くのキリスト教会があります。イエス・キリストは教会の「かしら」ですと、聖書は教えています。そのイエス・キリストは約2千年前、イスラエルのベツレヘムで生まれました。しかしイエスの前に、バプテスマのヨハネという偉大な預言者が現れました。ヨハネは、荒野でメシアへの道を備える人でした。
- ・そのヨハネは、父ザカリヤと母エリザベスという両親のもとに生まれました。そのように、キリストの教会 ⇒ イエス・キリスト ⇒ バプテスマのヨハネ ⇒ その父ザカリヤと、すべて一線上にある「つながり」が見られます。それは神のご計画でした。すべての事は、秩序ある神のご計画の内に置かれています。
- ・今日のメッセージの主題は「神である主をほめたたえよ」です。第一アドベント聖日にふさわしい主題です。主をほめること ⇒ 神を信じる聖徒たちにとって大切なことです。このテキストは「ザカリヤ讃歌」とも呼ばれ、聖書でよく知られた箇所です。それは、イエス・キリスト誕生前の大切なストーリーです。
- ・ところで、父ザカリヤの子であるヨハネは、実に偉大な人物となりました。女の人から生まれた人で、彼より大いなる人はないと、聖書は記している。ザカリヤ讃歌は、その彼の父親が神へ捧げた「讃歌」です。きっと父親が立派であったに違いないと思うでしょう。なぜ、ザカリヤは主をほめたたえ、賛美の歌声を神に捧げたのでしょうか？今日はそこがポイントです。
- ・まず、ザカリヤはエルサレム神殿に仕える祭司でした。**ルカ福音書 1:10, 12**「**彼が香をたく間、大ぜいの民はみな、外で祈っていた。ところが、主の使いが彼に現われて、香壇の右に立った。これを見たザカリヤは不安を覚え、恐怖に襲われた**」
- ・神殿に仕えた祭司ザカリヤは、不安と恐怖に襲われました。彼は主の幸い（恵み）を体験するまで、まず不安と恐怖につつまれました。そして神のストーリーが始まりました。

皆さん。私たちも人生において、たとえ不安、迷い、恐れ等を、持つようなことがあっても、主を賛美する者となることができます。

- ・ 今日、私たちは祭司ザカリヤが神の前で「ザカリヤ讃歌」をささげるまでに、何があったかを考えてみたいと思います。

### 大切なポイント

#### 1. 神の約束の言葉

1:13 御使いは彼に言った。「こわがることはない。ザカリヤ。あなたの願いが聞かれたのです。あなたの妻エリサベツは男の子を産みます。名をヨハネとつけなさい。

1:14 その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。

1) 天使は、ザカリヤに約束の言葉を届けた。⇒

- ① 男の子が与えられる（彼とエリザベスには長い間、子がなく願望が聞かれた）。
- ② 天からヨハネという名前が与えられた。
- ③ 彼はザカリヤにとって喜び、楽しみとなり、また多くの人々もその誕生を喜ぶ。

#### 2) バプテスマのヨハネの働き ルカ福音書

1:16 そしてイスラエルの多くの子らを、彼らの神である主に立ち返らせます。

1:17 彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし、父たちの心を子供たちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。」

- ① 彼は人々神に立ち返らせる働きをする
- ② 彼は主の前に民を供える働きをする

- ・ 確かにバプテスマのヨハネは、荒野で道を備える人となりました。メシア（救い主）が来臨される前、荒野でメシアへの道を備える器でした。
- ・ ところで神の大いなるご計画は、まず言葉によって与えられました。しかもその言葉は、ヨハネにあって確かに成就しました。聖書は多くの約束の言葉を与えています。神はご自身の計画、また意志を伝えるのに「約束の言葉」をお与えになりました。その最も大きな約束は

⇒ **メシア預言です**

- ① やがて救い主が生まれる
- ② その名はイエスと呼ばれる
- ③ 多くの人にとって喜び、楽しみとなる

これら3点はイエス・キリストの誕生によって成就しました。イエスの誕生、それがクリスマスと呼ばれています。

- ・ では、ザカリヤは、この天使ガブリエルからのメッセージを、どのように受け留めたのでしょうか？

#### 2. ザカリヤの応答

1:20 「ですから、見なさい。これらのことが起こる日までは、あなたは、口がきけなくなり、ものが言えなくなります。私のことばを信じなかったからです。私のことばは、その時が来れば実現します。」

ルカ

- この後、ザカリヤはヨハネと命名するまで、口が不自由となりました。このペナルティーがかかった背景は、彼は「天使の言葉を信じなかった。」(不信仰) からでした。神からの忠告でした。なぜ、ザカリヤほどの人物が不信仰に・・・・？
- 皆さん。ここで信じるとは？いったいどういうことでしょうか。彼はイスラエルの祭司であり、神殿で神に仕える人でした。いわゆる神に近い人であったはずでした。幼い頃からユダヤ神学を学び、豊かな知識もあった人に違いありません。そして、彼はレビ族という祭司の家系で血統ある出身でもありました。このように外側から見れば、申し分のない身分の祭司でした。
- しかし、天使が現れ超自然的方法で「約束の言葉」が与えられた時、信じられませんでした。つまり、信仰とは「そういう人間の評価や領域を超えるものである」、ということです。これだけの人物だからとか、こんな経験者だからだ、ということではありません。

聖書： この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。 (ヨハネ1:13)

- イエス時代の多くの聖書学者、神学者を見てください。彼らの多くがイエスを信じられませんでした。今の時代も、多数の知識人たち、高位にある人たちが、聖書の言葉を信じられない、と言います。では、いったい信仰とは何でしょうか？  
⇒ 外面的ではなく、内側の奥深いところにある神への信頼（意志）
- 「アブラハムの信仰」を思い出してください。  
「彼（アブラハム）は信仰によって義とされた」 創世記 15：6  
「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。」 ヘブル 11:6

神が祭司ザカリヤに求められたのは、「その信仰」でした。

しかし、ザカリヤの天使への応答で分かるように、信仰が働きませんでした。

祭司ザカリヤほどの人物であっても・・・・です。信仰による応答が出来ませんでした。

- しかし、これは私にとっても励ましです。なぜなら、そのようなザカリヤに、神は大いなる計画を実現させられたからです。神はザカリヤを、バプテスマのヨハネの父親となることを、善しとされました。ここに、神の恵み、神の選び、神の祝福がありました。「ザカリヤ讃歌」は、彼が自分の弱さを経験してから生まれた讃美の歌でした。
- 愛する皆さん！ 私たちも他の人より優れているから、神に招かれているのではありません。ただ神の恵み、神のあわれみ、神の祝福にすぎません。それは何と云う

感謝なことではありませんか。神は、私たちの迷いも、不信仰も、失敗も生かすことができるお方です。しかし誤解しないでいただきたいのです。不信仰でよいと言っているのでは、ありません。神の前に、正しく生きることは大切なことです。神は私たちのマイナス（弱点）を、プラス（利点）に変えることを「善し」とされるお方です。

### 3. 主の約束の成就

1:62 そして、身振りや父親に合図して、幼子に何という名をつけるつもりかと尋ねた。

1:63 すると、彼は書き板を持って来させて、「彼の名はヨハネ。」と書いたので、人々はみな驚いた。

1:64 すると、たちどころに、彼の口が開け、舌は解け、ものが言えるようになって神をほめたたえた。 ⇒ ザカリヤ讃歌へ

• ここで少し整理してみましょう。

#### 1) ザカリヤは、なぜ「主をほめたたえる器」となったか？

- ①彼は約束の言葉が与えられた（啓示）
- ②しかし、彼は天使の言葉を信じなかった [彼の応答]
- ③それでも、神の約束成就の時が来た。（神の恵み）

#### 2) 神の重要な原則（ルール）

- ① 神は約束を守られるお方であること（だから信頼に値する）
- ② 「主の備えがあった」、つまりザカリヤは私たちと同じような弱さを持つ器でした。それでも、「約束の言葉」は成就しました。私たちも神に招かれた者です。今の時代も、生ける神は「約束の言葉」を私たちに語ってくださいませ。⇒ 神の「約束の言葉」は必ず成就します。

#### 3) 何が求められるか？

⇒ 素直（単純）な信仰

それはどんな信仰のことでしょうか。

• ① 「からし種」のような信仰：マルコ福音書

4:31 それは一粒のからし種のようなものである。地にまかれる時には、地上のどんな種よりも小さいが、

4:32 まかれると、成長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が宿るほどになる」。

② 「山を動かす」信仰：マルコ福音書

11:23 よく聞いておくがよい。だれでもこの山に、動き出して、海の中にはいれと言ひ、その言ったことは必ず成ると、心に疑わないで信じるなら、そのとおりに成るであろう。

- ・この2つの聖句は、先ず不可能なことが「信仰によって」実現可能であることを教えてくれます。ザカリヤの場合も、「然りであり、アーメン！」でした。
- ・まもなく、私たちはクリスマスを迎えます。イエス・キリストの誕生は、奇跡そのものです。イエスは、乙女マリヤより生まれました。  
⇒これを「信仰によって」受け入れる人は幸いです。  
いいえ、信仰がなければ、受け入れられないことです。
- ・信仰は、血統や系図によるものではありません。信仰は、知識や立場によるのではありません。信仰は自分の努力によるものでもありません。信仰は人が人を信じさせるものでもありません。信仰はただ神の「恵み」です。それは素直な心で、神がお語りくださったのですからと、「神の言葉」を受け入れることです。

### {例 話} 黒田の召命の言葉と41年後の現実の確認

- ・1976年、ドイツで学生であった私に、次のみ言葉を与えてくださった。

#### 申命記 28 章

28:1 もし、あなたが、あなたの神、主の御声によく聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を守り行なうなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられよう。

28:12 主は、その恵みの倉、天を開き、時にかなって雨をあなたの地に与え、あなたのすべての手のわざを祝福される。それであなたは多くの国々に貸すであろうが、借りることはない。

28:13 私が、きょう、あなたに命じるあなたの神、主の命令にあなたが聞き従い、守り行なうなら、主はあなたをかしらとならせ、尾とはならせない。ただ上におらせ、下へは下されない。

- ・今、私の人生を振り返ると、神のみ言葉は確かであったことを確認します。

◎ いかがでしょうか・・・？

私たちは信仰をもって「神の言葉」を受け入れているのでしょうか？

### ま と め

テーマ：「神である主をほめたたえよ」

#### —ザカリヤ讃歌—

- ・祭司ザカリヤは天使の言葉を聴きました。しかし、彼はすぐ神への賛美を捧げたわけではありません、回り道がありました。回り道は益と変えられました。しかし、結果的には主を崇め、主を讃美し「ザカリヤ讃歌」を捧げました。
- ザカリヤの歩んだ道⇒
  - ・彼には、神に選ばれ約束の言葉が与えられた（啓示）
  - ・彼は天使の言葉を信じなかった [彼の応答]
  - ・神の約束成就の時が来た。（神の恵み）

- ・ 私たちも、はじめは聖書の言葉を信じられなかったのではありませんか。  
しかし、それでも、神の 때가 満ち、神を「ほめたたえる！」者とされたのです。
- ・ 第一アドベント聖日、私たちはどんな「讃歌」を神に捧げるでしょうか。  
「ザカリヤ讃歌」のザカリヤという名前に、自分の名前入れてみてください。私は第一アドベント聖日が、「黒田讃歌」になることを望んでいます。

\* God bless you!